

各位

公益財団法人 日本卓球協会

2020年（令和2年）6月1日改定・実施の日本卓球ルール（改定概要）

2019年5月31日及び2020年1月1日の国際卓球連盟（ITTF）のルール改定を受け、国内ルールの改定を行います。また一部に国際卓球連盟ではない文言修正が含まれています。

- （注）
- ・波線のアンダーラインは国際卓球連盟が2019年または2020年に改定したものであることを示す。
 - ・一重線のアンダーラインは、国際卓球連盟によるルール改定の条文を国内用に修正したものであることを示す。
 - ・二重線のアンダーラインは日本卓球協会が今回修正した部分を示す。

1. 条文

第1章 基本ルール

1.10 ポイント

1.10.1.7 相手競技者が故意にボールを続けて2回以上打った場合。

第2章 競技ルール

2.2.3 競技条件

2.2.3.1 競技領域は、長さ14m、幅7m以上の長方形で、高さ5m以上なければならない。しかし四隅は、長さ1.5m以下のフェンスで斜めに囲むことができる。車椅子を使用する競技会では、競技領域を狭くすることができるが、長さ8m幅6mより狭くしてはならない。ベテラン競技会では、競技領域を狭くすることができるが、長さ10m 幅5mより狭くしてはならない。

2.2.5 広告とマーキング

2.2.5.1.1 競技領域内やその周辺の広告やマーキング、及び競技者の服装やゼッケン、審判員の服装につける広告やマーキングは、タバコ製品、アルコール飲料、有害な薬物、違法な製品に関するものであってはならず、また人種、外国人嫌い、性別、宗教、身体的障害の理由による敵対的な差別や含意、及びその他の種類の差別を含んではならない。しかし、高校生以下の競技者のために組織された大会以外の大会に関しては、JTТАは競技領域内やその周辺の用具や備品に非蒸留酒の広告やマーキングをつけることを認めることができる。

2.2.5.4 競技領域内の床に、6ヶ所まで広告をつけることができる。マーキングは、次の要件を満たさなければならない。

2.2.5.6 ネットの両面にはそれぞれ2ヶ所ずつ広告をつけることができるが、広告は、使用するボールの色と明らかに違う色とし、ネットの上端から3cmの部分には広告をつけてはならない。また、テーブルのサイドラインの垂直の延長線より内側のネットの部分につけられた広告は暗い単色のロゴや語マークまたは他の図形記号でなくてはならない。

2.2.5.10 競技者のゼッケンにつける広告は、全面積が100cm²以下とする。もし競技者のゼッケンが使用されなければ、大会スポンサーの一時的な広告の追加が認められるが、全面積は100cm²以下とする。

2.5 ペナルティー

2.5.2 バッドマナー

2. 公布年月日

2020年（令和2年）4月1日

3. 改定年月日

2020年（令和2年）6月1日

以上